



石巻広域クラブ通信

<No.55>

THE Y'S MEN'S CLUBS OF GREATER ISHINOMAKI

CHARTERED MAY28, 2016

YMCA-ISHINOMAKI-CENTER
KyuEikoyochienchinai2-12-3,Okaidokita,
Ishinomaki, 986-0854,Japan

〒986-0854 石巻市大街道北 2-12-3
旧栄光幼稚園 2階 YMCA 石巻センター
電話 080-2800-4090(大林)090-2365-7940(清水)

2021年3月号

E-mail: gishinomaki@gmail.com

E-mail: kochan-send.2@plum.plala.or.jp

== 2020-2021年度 主題 ==

- クラブ会長 大林健太郎「共に喜びをもって生きるために、視座の転換を図ろう」
北東部部長 南澤一右(仙台青葉城)「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう!」
東日本区理事 板村哲也(東京武蔵野多摩)「変化をたのしもう!」
アジア太平洋地域会長 David Lue(シンガポール)「変化をもたらそう」
国際会長 Jacob Kristensen(デンマーク)「価値観、エクステンション、リーダーシップ」

<今月の聖句>

「神はわたしたちの避けどころ、わたしたちの砦。苦難のとき、必ずそこにいまして助けてくださる」(詩編 46:2)

<強調月間>: BF・メネット

2021年3月例会プログラム

日時 3月26日(金) 18:30~20:30

場所 YMCA石巻センター(旧栄光幼稚園2階)

例会当番 斎藤勉・遠藤元気

1. 開会点鐘 会長 大林健太郎
2. ワイズソング 一同
3. 会長あいさつ 会長 大林健太郎
4. ゲスト・ビジター紹介 書記 清水 弘一
5. 今月の聖句、お祈り 関川祐一郎
6. ゲストスピーチ(プロフィールは4頁を参照)
講演者: 桃井 和馬先生
恵泉女学園大学特任教授 桜美林大学客員教授
テーマ:「第3回サン・ファン号関連企画: スペインと巡礼の文化」
7. 諸報告 ① 3.11 記念礼拝と追悼の集いについて
② 3.11 こども文庫 ③ 3.11 メモリアルプロジェクト
④ YMCA 報告 ⑤ その他、アピール等
8. ハッピーアニバーサリー 会長 大林健太郎
青木満里恵さん 3/2、阿部春一さん 3/8、小笠原均さん 3/12、阿部かよ子さん 3/20、木村麻呼さん 3/30
9. ニコニコ 会計 日野 峻
10. 閉会あいさつと点鐘 会長 大林健太郎

10年目の3.11 追悼によせて

石巻広域ワイズメンズクラブ

2020-2021 会長 大林健太郎



石巻市主催10年目の3.11追悼の集いが開かれる一方、地元でも、全国

各地でも3.11追悼の集いが開かれました。私たちも、「ワイズメンズクラブ国際協会東日本区」・「北東部」、「公益財団法人仙台YMCA」、「4ワイズメンズクラブ連絡会議」の4団体共催で開催いたしました。厳粛な中にも新しい未来に希望を、感得させる招きの言葉・説教が語られました。4,000人近い犠牲者をこの石巻地区にもたらした災害は、この地区に居住する市民全員に前代未聞の衝撃を与えるとともに、一時町の回復が二重に不能とも思える衝撃を与え、死者を前に涙を流し慰霊をする暇もなく、被災の日常を送らざるを得ませんでした。

同じ石巻地域で缶詰工場を経営する株式会社木の屋石巻水産には、東京方面から多くのボランティアが集い、社屋に避難をしている役員・従業員とともに日常の食糧確保のために、砂に埋もれた缶詰の拾い集めをはじめました。このことが、ボランティアの間で語り継がれ、「命の缶詰」といわれる缶詰となっていきました。<次ページにつづく>

<2月のデータ>

【例会出席率】 在籍22名 メーキャップ1名 出席率 11/22 50%
1月例会出席者: メン10名、メネット0名、コメント0名、ゲスト5名
【スマイル】 今月 13,000円、累計 107,054円 ビジター0名
【ファンド】 今月 0円 累計 20,650円 協力会員0名
【BF】 今月 0円 累計 0円 計15名

会長 大林 健太郎
副会長 青木 満里恵
日野 峻
書記 清水 弘一
会計 日野 峻
直前会長 石川 光晴
担当主事 斎藤 勉

●本例会: 毎月 第4金曜日(18:30~20:30) ●第2例会(役員会) 第2金曜日

<前ページよりつづく>

その後、東京経堂より訪れていたボランティアの方々が、「経堂に運んで泥落としをして、従業員の生活費の一部にならないか検討しよう。」というアイデアが生まれたと言われています。東京の経堂商店街に泥だらけの缶詰が持ち込まれ、強烈な匂いを放つ缶詰の泥を落とし、水洗いがなされ、「義援金募集1口300円」「協力いただいた方に缶詰1缶プレゼント」を標語に商店街に陳列されました。大勢の方が協力され、多額の資金が株式会社木の屋石巻水産に引き渡しされていきました。ボランティアの方々がご自身の働きから「奇跡の缶詰」「希望の缶詰」と呼ぶようになっていきました。誰が、言い始めたのかは、会社に聞いてもわからないといひます。これらの行動全体が、ボランティアの方々の心を熱くし、復興支援に対し共感共鳴するという、被災の中にもありながらも豊かさを味わうことができたのでしょ。う。ヘドロと砂に埋まっていた約22万缶は「命の缶詰」「奇跡の缶詰」「希望の缶詰」となり、被災地も元気にし、大勢のボランティア方々、

復興を応援された方々が励まされました。

このことは、今後の復興支援活動に大きな示唆



を与えているような気がいたします。(↑ボランティア) **イザヤ書第61章を思い出しました。**

ここで、貧しい人、心まで打ち砕かれた人、捕らわれ人、つながれている人を「正義の樅の木」と呼び、彼らこそ「とこしえの廢墟を建て直し、古い荒廢の跡を興す」人々であると断言し、神の望まれる新しい社会を築くエネルギーと力は彼らから出るのを明らかに示しています。虐げられたり、弱い立場に置かれたり、社会的に小さく小さくされてしまっている、みんなから後回しにされがちな、そういう人たちが「彼ら」と表現される人々なのではないでしょうか。「正義の樅の木」はクリスチャンのことを指しているのではないと思ひます。洗礼を受けても、受けていなくても、他の宗教に属している人であっても、「わたしは無宗教です」と言っている人であったとしても、貧しく、小さくされているがために、誰よりも痛み、苦しみ、寂しさ、悔しさ、怒りを知っている人(ボランティアの人々)。同じようなつらさを担っている仲間「わかるよ」と共感の言葉をかけてあげられる、そのような人たちこそが、「神様が植えられた樅の木」なのだといザヤは語り、主イエスは語ったのだと思ひます。

わたしたちの住む石巻地域には、今後も復興支援が必要と考えられます。特に、基幹産業である水産業が復興しない限り、復興はありえないと思ひます。できる限り支援を継続して行きたいと心から願うものです。

2月第一例会報告

日時 2020年2月26日(金) 18:30~20:30

場所 YMCA 石巻センター(旧栄光幼稚園2階)

出席者 青木満里恵、大林健太郎、川上直哉、日野峻、南奈央子、齋藤勉、櫻井美智江、清水弘一、石川光晴、石田信正、木村純(MC)

<ゲスト>田村誠明氏(公益財団法人岡田茂吉美術文化財団)、齋藤裕司様(サン・ファン号保存を求め世界ネットワーク副会長)、寺田美穂子様(同ネットワーク事務局長)、山田みき様(同ネットワークメンバー)、阿部豊様(ベテルの風)

1. 開会点鐘 会長 大林健太郎
2. ワイズソング 一同
3. 平井孝次郎ワイズを偲んで 会長 大林健太郎
4. 会長あいさつ 会長 大林健太郎
5. ゲスト・ビジター紹介 書記 清水 弘一
6. 今月の聖句、お祈り 川上 直哉
7. ゲストスピーチ

テーマ:「サン・ファン・パウティスタ号の保存運動」
講演:サン・ファン号保存を求め世界ネットワーク

- (1) 副会長 齋藤 裕司 様
- (2) 事務局長 寺田美穂子 様
- (3) 事務局 山田 みき 様

8. 諸報告 ① 3.11 こども文庫 ② 3.11 メモリアルプロジェクト ③ YMCA 報告 ④ その他
9. ハッピーアニバーサリー(敬称略)
姉齒一紀 2月11日、日野峻 2月15日、
福島和州太郎 2月27日、山田和佳子 2月28日
10. ニコニコ 13,000円 会計 日野 峻
11. 閉会あいさつと点鐘 会長 大林健太郎

2月26日夕方6時半から、定例の例会が開催されました。この日のゲストスピーカーは齋藤祐司さんと寺田美穂子さんでした。齋藤さんは二度目の登場で、寺田さんをエスコートするお役目でした。寺田さんは、震災後「テイラー文庫」の活動で、石巻広域クラブとも一緒してくださった方でした。今、寺田さんは「ハポン・ハセクラ後援会」と「サンファン号保存を求め世界ネットワーク」の事務局をなさっております。この二つの組織はつながっています。つまり、現在の石巻を1616年9月に出航した「支倉常長遣欧使節団」があり、その随行員の子孫が「ハポン(日本)」一族としてスペイン・セビリアにある

3月拡大役員会報告

日時 2021年3月11日(木) 17:00~18:30
場所 YMCA 石巻センター
出席者 大林健太郎、青木満里恵、姉齒一紀、石川光晴、川上直哉、櫻井美智江、日野峻、福島和州太郎、南奈央子、清水弘一、石田信正
<ゲスト>大野勉、山田滋巳(神戸ポート)

1. 開会点鐘 大林会長
2. ワイズソング 全員
3. 会長あいさつ 大林会長
4. 軽食 省略
5. 報告事項

(1) 2月第一例会開催報告

日時 2021年2月26日(金) 18:30~20:30
場所 YMCA 石巻センター
内容 2月第一例会報告参照(2頁)

(2) 3.11 こども文庫の会(第5回)報告

日時 2021年3月6日(土) 13:30~15:00
場所 YMCA 石巻センター
出席者 <文庫の会>長沼利枝さん(委員長)、齋藤みや子さん、田村誠明さん、日野峻、川上直哉、清水弘一 Zoom参加:①石丸リミック教室 ②仙台YMCA幼稚園
絵本の読み聞かせ(①ぼくは海になった②つなみてんでんこ 走れ、上へ)

その他 次回は4月24日(土)、①絵本整理3/23
②事前準備会4/19、4/23

(3) 3.11 記念礼拝と追悼の集い開催について

日時 2021年3月11日(木) 記念礼拝:14:30~15:20 追悼の集い:15:45~16:45
場所 礼拝:礼拝堂 追悼の集い:石巻センター
参加者 ①神戸ポート2名 ②仙台YMCA5名 ③仙台クラブ2名 ④仙台青葉城クラブ5名 ⑤仙台広瀬川クラブ7名 ⑥石巻広域クラブ10名
⑦ゲスト2名計32名、<Zoom参加者>30名

プログラム 別紙案

(4) 次年度クラブ会長並びに役員を選出について

選考委員会:2021年2月12日(金)拡大役員会
2021-2022 会長:日野峻、次期会長(副会長):青木満里恵、書記、会計、事業委員長については次期日野会長に一任

(5) 3.11 メモリアルプロジェクトの進行状況報告

6. 協議事項

(1) 3月第一例会について

日時 2021年3月26日(金) 18:30~20:30
場所 YMCA 石巻センター
プログラム ゲストスピーカー 桃井和馬先生
テーマ:第3回サン・ファン号関連企画

コリア・デルリオ市などにおられまして、その皆さんと宮城県をつなぐ会が「ハポン・ハセクラ後援会」でした。そして、「支倉常長遣欧使節」を運んだ船「サン・ファン・パウティスタ号」が1993年に原寸大で復元され、400年前の偉業を現代に伝えるモニュメントとなり、3.11の津波を受けても世界中の支援に支えられ展示され続けたのですが、「老朽化」を理由に2021年度に「解体」されることになり、その反対運動が市内・県内各地で起こり、それが大同団結して「サンファン号保存を求める世界ネットワーク」となります。そのまとめ役となったのが「ハポン・ハセクラ後援会」、その事務局を担っておられるのが寺田さんだったのです。

寺田さんのお話は「サン・ファン・パウティスタ号」と世界との結びつきを語るものでした。それはやはり、「3.11」が関わることでした。まず、ニューヨークです。2001年の「9.11」テロの犠牲者を追悼する団体が、「3.11」を受けて、二つの犠牲者を追悼するコンサートが、ニューヨークで行われるようになりました。2015年、「3.11」に石巻で亡くなった米国人テイラーさんが、そのコンサートの主題となり、石巻や女川の子どもたちが渡米して出演し、石巻とニューヨークとがつながりました。そのコンサートの中で、石巻と世界のつながりを示す「ハポン」の皆さんが紹介され、石巻とスペインがつながったのでした。そのつながりの中で、コリア・デルリオ市で2019年に「ハセクラカップ」と題したサッカー大会が開催され、女川のサッカークラブの子どもたちが出場し、新しい国際交流が芽生えたのでした。

以上のような寺田さんのお話を伺い、「サンファン号」復元船の意味を新しく知らされました。復元船は、世界への窓になる。その可能性を守り、展開しなければいけない。そのように思わされたことでした。(川上直哉)



写真中央、齋藤副代表、左、寺田さん、右、山田さん

3.11 こども文庫（第5回）の開催

東日本大震災から満10年を控える3月6日(土)、第5回目の3.11 こども文庫が石巻センターで行われた。今回も新型コロナの影響でこども達の参加が3人と少なかったが、東京の石丸リトミック教室、仙台YMCA幼稚園とはオンラインで繋ぎ、歌あり、体操あり、ゲームありで賑わった。今回の絵本の読み聞かせは3.11 震災のお話して、「僕は海になった」と「つなみてんでんこ 走れ、上へ」の2冊の絵本が披露された。文庫の会の皆さんの事前の練習や音響効果もあって、読み聞かせの間のこども達はシ～ンと静まり返った。また、こども達に人気があったのは絵本の読み聞かせの合間に行われた新聞紙をつなぎ合わせて長さを競うゲームで、最後にオンラインの画面でお互いの成果を披露し合った。



第6回 3.11 こども文庫の開催予告

日時：2021年4月24日(土) 13:30～15:00
場所：YMCA 石巻センター(旧栄光幼稚園ホール)

平井孝次郎ワイズのお別れの会

昨年末に天に召された平井孝次郎氏のお別れの会が3月17日石巻グランドホテルに於いて開かれ、クラブから大林会長他有志が参列し、花で飾られた遺影の前に献花してまいりました。改めてご冥福をお祈り申し上げます。



- (2) 第5回 3.11 こども文庫の会開催について
日時 2021年3月6日(土) 13:30～15:00
場所 旧栄光幼稚園2階ホール
- (3) 石巻と神戸をつなぐチャリティーコンサートの開催準備について
日時 2021年5月1日(土) 午後
場所 石巻センター 13時～15時
その他 出演者との具体的交渉をスタートさせる
- (4) 次年度クラブ役員の選出について
2021 - 2022 書記、会計事業委員長、YMCA 特別プログラム委員等の選任を、3月末目標に日野次期会長の下で進めることが確認された。
- (5) 平井孝次郎ワイズのお別れの会について
日時 2021年3月17日(水) 13時～15時
場所 石巻グランドホテル
出席者 14時を目途に集合し献花を行う。
- (6) クラブ5周年記念例会について
日時 2021年5月28日(金)
場所 石巻センター
内容 ①コロナ禍の折、特別なゲストへの案内は行わない。②クラブメンバーを中心に簡単な食事会で5周年を祝う。
- (7) クラブ通信3月号原稿のお願い
① テーマ：「東日本大震災から10年、そしてこれから」
② 〆切日：2021年3月19日(金)
③ 字数：約300～400字(復興に関わる写真がありましたらご提供ください)
- (8) 今年度後期会費の納入のお願い
- (9) その他
① CS 献金お年玉年賀切手シート提供のお願い
・当選番号：60・58・50
・毎月の例会時に地域奉仕委員長又は書記迄
② その他

7. 閉会あいさつと点鐘 大林会長

3月例会ゲストスピーカープロフィール



1962年生まれ。写真家、ノンフィクション作家、恵泉女学園大学特任教授 桜美林大学客員教授。これまで世界140カ国取材し、「紛争」「地球環境」

「宗教」を基軸に「文明論」を展開。講演・講座の他、テレビ・ラジオ出演多数。第32回太陽賞受賞。公益社団法人「日本写真家協会」会員。主要著書に「和解への祈り」(日本キリスト教団出版局)他多数。



3. 11 記念礼拝と追悼の集い ～東日本大震災から 10 年～

開催：2021年3月11日(木)
場所：石巻栄光教会礼拝堂・
YMC 石巻センター
共催：東日本区、北東部、仙
台 YMCA、4 ワイズ

記念礼拝 (14:30～15:20)

1. 着席 司会 菅野健 奏楽 吉永肇子
2. 前奏
3. 招きの言葉と祈り
4. 黙祷
5. 点鐘 (地震発生時 14 時 46 分) 石巻大林会長
6. 讃美歌 425 番
7. 聖書朗読 新約聖書「ヨハネの黙示録」
22 章 20 - 21 節
8. 讃美歌 57 番 (1 - 2 節)
9. メッセージ 「悲しさと美しさと」
石巻栄光教会牧師 川上直哉
10. 祈禱
11. 頌栄 27 番
12. 祝禱
13. 後奏

追悼の集い (15:45～16:45)

- 司会 清水弘一 奏楽 吉永肇子
1. 開会点鐘 仙台青葉城クラブ菊地会長
 2. ワイズソング 「いざ立て」
 3. 黙祷
 4. 講演 テーマ：「3.11 の 10 年の振り返り
これからの展望」
講演者：川上直哉 ワイズ (東北ヘルプ・
石巻栄光教会牧師)
 5. 共催者代表あいさつ
(1) ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
理事 東日本大震災支援対策本部本部長
板村 哲也 様 (2) 公益財団法人仙台
YMCA 総主事 村井 伸夫 様
 6. 出席者紹介 (オンライン参加者含む)
 7. 聖書の贈呈 「3.11 の津波に遭った聖書」
石巻広域クラブ 石田信正
 8. 献金 「これからの支援活動のために」
 9. 北東部・各クラブアピールなど
 10. YMCA の歌
 11. 閉会点鐘とあいさつ 仙台クラブ中川会長

礼拝メッセージと講演は川上が担当しました。

礼拝メッセージは「記念」という言葉についてお話しすることから始めました。キリスト教では不吉で不幸な出来事も意識的・積極的に「記念」します。それは、そうした辛い出来事の中に新しい可能性の芽生えを見つけようとするためです。礼拝の中では (石田ワイズの寄贈くださった聖書を用いて) 旧約聖書から「戦災からの復興」の幻をうたった詩と、新約聖書から「江戸時代のクリスチアンのような迫害」を受けている中での祈りの言葉に聴き、「キリスト教の礼拝は、悲しい出来事とそこからの美しい回復が表裏をなす現場に立って、そこに立ち続ける仲間と希望を分かち合うために行われる」ということを確認しました。そして「3.11」の現場で行われるこの催事の祝されていることを確認したのでした。

講演は「3.11 の 10 年の振り返りとこれからの展望」を主題としました。10 年の時間と莫大な経費をかけて「少子高齢過疎の深刻化」と「継続する水素爆発の可能性」を残した、という厳しい声を紹介して 10 年を振り返り、その現実に対応する可能性を「福島 YMCA」と「サンファン号復元船保存運動」に見て、紹介しました。また被災地の可能性は被災後に移住した「新住民」にあることを指摘して、「旧人民」と「新住民」をつなげる役割として「100 年前の新住民」である YMCA や教会の存在の重要性を語りました。



聖書寄贈

記念礼拝に参加して

大野 勉 (神戸ポート)

10年前の3月、いてもたってもいられず、終業式が終わるとすぐに東北をめざした。あの時と今も思いは変わらない。この10年間、何度通ったことだろう。2011年：「折りづるラン：東京日本橋～仙台YMCA 432km」2014年：「折りづるラン：仙台YMCA～宮古ボランティアセンター」

その他：もちつき&歌@仙台YMCA 保育園、気仙沼学童保育、石巻渡波仮設住宅、石巻市内児童館前、石巻河南学童保育等。陸続きの神戸、石巻間は距離を感じなくなった。いつもそばにいたい気持ちがある。

同じ思いで今回の「3.11 記念礼拝と追悼の集い」に出席した。さらに、今回は神戸ポートクラブ現会長山田ワイズも出席。クラブとしての繋がりも深めたい。

東京YMCAが開所した石巻センターをワイズメンズクラブが引き継ぎ、仙台YMCAを中心に仙台の3クラブが活発な活動を行ってこられた。そして、5年前の石巻広域クラブチャーターを機に、より強固な協働をもって今もなお地域のために活動を続けておられる。心から敬意を表したい。

石巻でのYMCA&ワイズメンズクラブの活動が地域に深く根ざし、より多くの市民との協働が広まることを確信している。東日本大震災から10年、まだ10年。まだまだ復興への道は続く。距離は遠いけれど、神戸から、心はそばに居続けられるよう、ワイズの絆でつながっていききたい。

朝の空気が気持ちよく、石巻市内被災地行きを朝ランした。石巻南浜津波復興祈念公園完成間近。



理事メッセージ

東日本区理事 板村 哲也 (東京武蔵野多摩)

全国的にサクラの開花が例年より2週間早まると報じられています。

1月に行われたワイズメンズクラブ国際協会の選挙で、来年度の次期国際会長と来年度の次期アジア太平洋地域会長が選出されました。(詳細：2頁参照)

2月13日に東北地方で震度6強に達する大きな地震がありました。被害に遭われた皆さまにお見舞い申し上げます。10年前の大震災の再来かと緊張しましたが、ワイズメンやYMCAの皆さまと周辺

の方に人的被害がなく、不幸中の幸いでした。海外のワイズの仲間からも多くのお見舞いや励ましのメールを頂きましたので、この場をお借りして皆さまにお伝えさせていただきます。

3月は東日本大震災から10年となります。3月11日に「3.11 記念礼拝と追悼の集い」をハイブリッドで実施しますのでどうぞ参加下さい。また「3.11 献金」の受付締め切りを3月5日まで延長致します。(詳細：3頁参照)

季節が廻り気温が徐々に上がってきていますので、新型コロナウイルスには生きにくい環境になりつつあり、またワクチンの投与も始まりましたので、将来に明るさが見えてきました。しかし未だに昨年同期とは桁の違う感染確認者数が伝えられています。変異株の出現や緊急事態宣言解除後の感染拡大のリバウンドが懸念されています。これからも気を緩めず手を携え難局を乗り切っていきましょう。

このような中、第24回東日本区大会の開催につきホストクラブ(甲府21クラブ)と検討を重ねました結果、コロナの感染が続くであろう中で、多くの皆さまに一か所にお集り頂き、飲食を共にし、歓談して夜を過ごすことは避けるべきとの結論に達しました。誠に残念です。そこで区大会は対面での実施ではなく、リモート形式で実施することとし、2月25日の常任役員会で承認を頂きました。大会を楽しみにしていた皆さまには大変申し訳ないことですが、事情をご理解ください。

この結果に伴い、区大会に先立つ第4回役員会、年次代議員会もリモートで開催致します。夫々の具体的な開催要領は改めてお伝え致します。

今月は次期クラブ会長・部役員研修会(リモート)が開催されます。研修対象者の方は万障お繰り合わせの上ご参加下さい。

YMCA ニュース 3月号

① 国際・地域協力募金委員会

3月9日(火)に第4回募金委員会が立町会館にて18:30~20:00で行われました。

3月9日現在の募金額は1,290,000円となっております。まだ入金がない施設、部門がありますので、最終募金額が決まりましたらご報告いたします。

② 2021年度入職式について

3月27日(土)仙台YMCA立町会館にて10時から4階ホールにて2021年度入職式が行われます。コロナ禍の影響もあり、規模を縮小して実施する予定です。

③ 前仙台YMCA総主事光永尚生氏による職員研修会が3月21日仙台YMCAで行われました。光永氏は3月末に日本YMCA同盟より故郷熊本に戻られます。(斎藤勉)